

課題： 釣りの仕掛けの処理がめんどくさい

分別しないとイケない

可燃ごみ

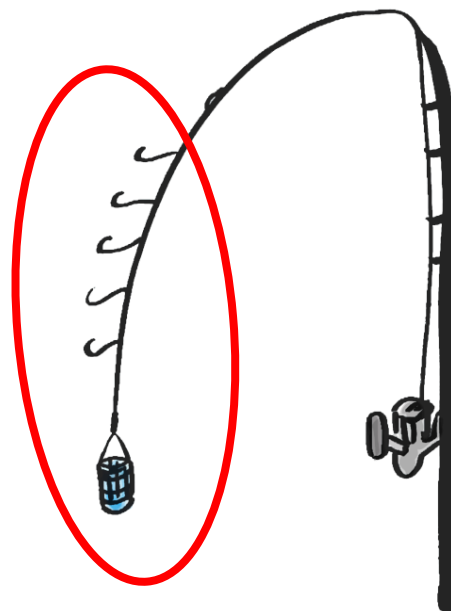


釣り糸

不燃ごみ

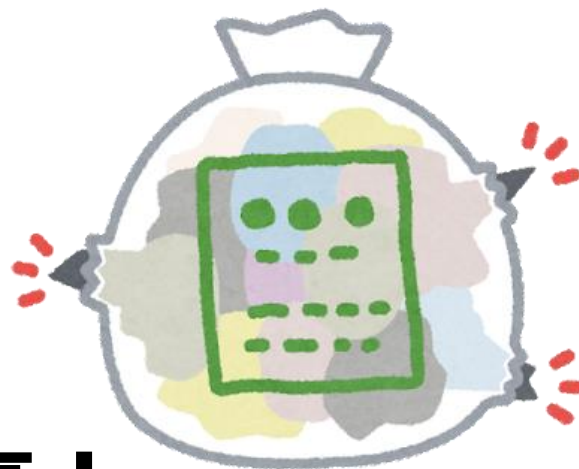


釣り針



分別せずに捨ててしまうと・・・

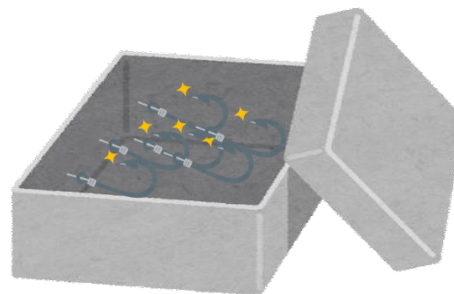
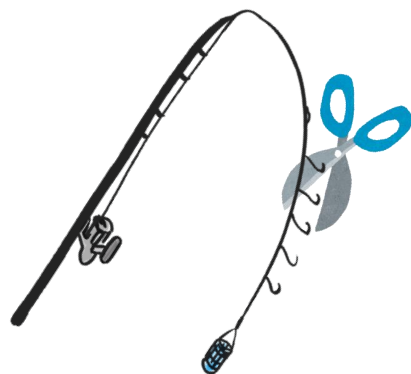
ごみ収集作業員の方が怪我をしてしまう恐れがある



だから分別が大事！

課題：釣りの仕掛けの処理がめんどくさい

従来の処理方法

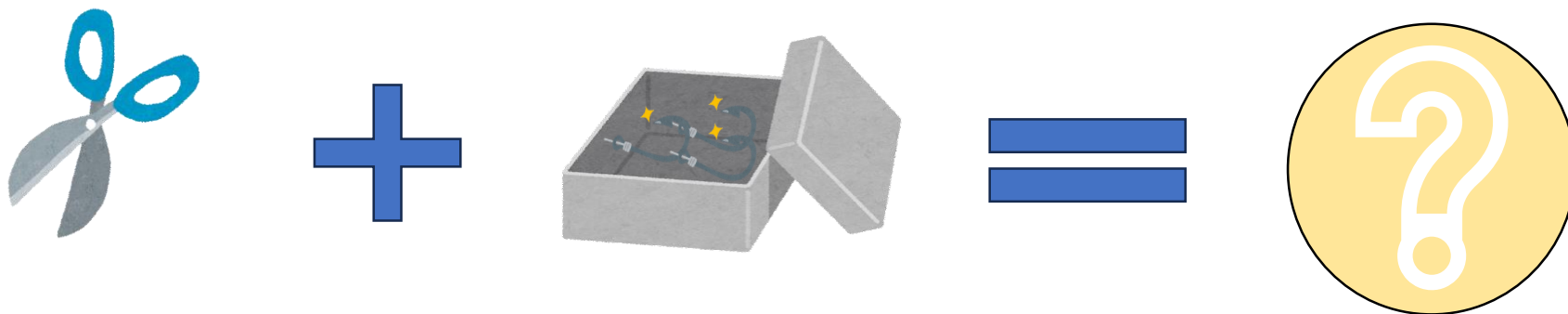


ハサミで、釣り針とハリス(仕掛けの糸)を切断し、容器等に釣り針を回収している。

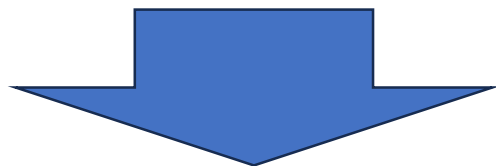
デメリット：針がたくさんついた仕掛けは処理に時間がかかる。

課題の解決手段

ハサミと釣り針を一時的に保管できる容器を組み合わせたら、もっと処理が楽になるのではないかと考えた。

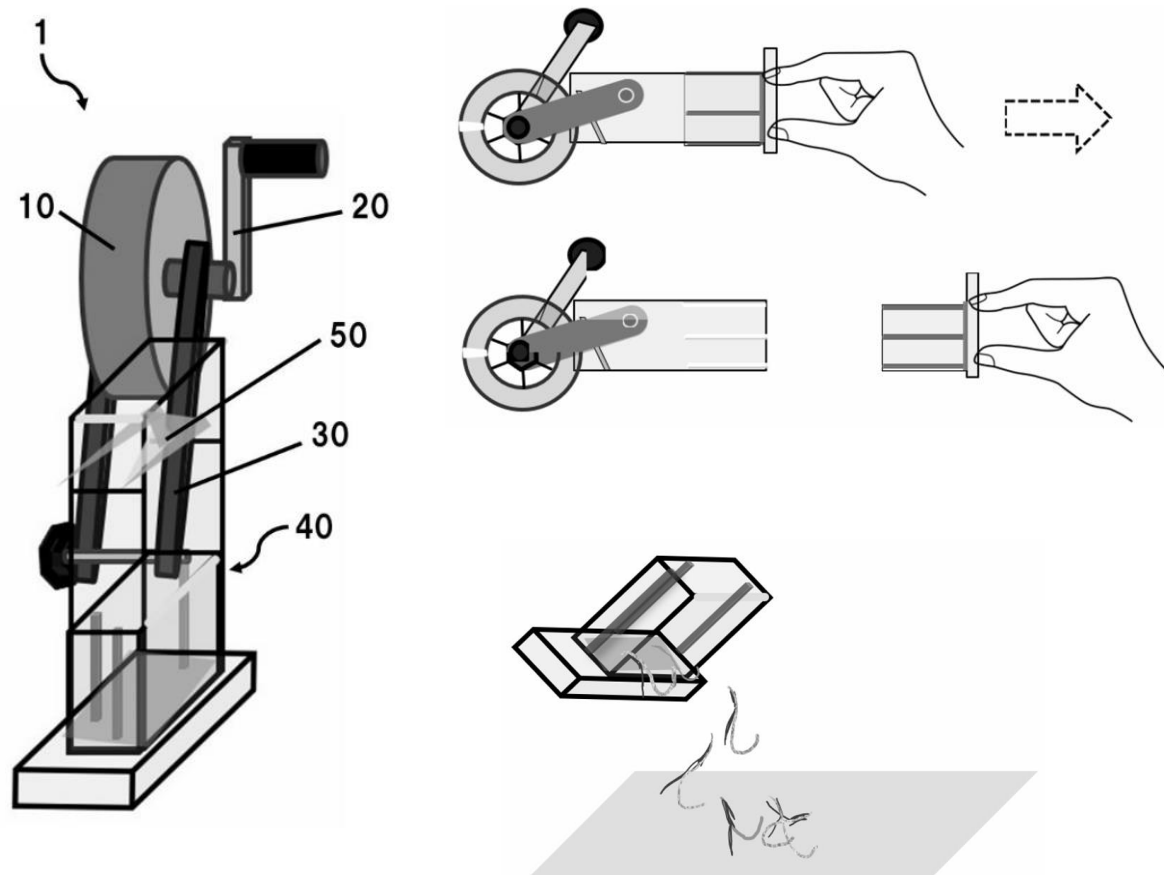


そして、釣り針を釣り糸から連続的に
簡単に分離回収できる器具を発明した。



その名が**釣り仕掛け処理具**

釣り仕掛け処理具について

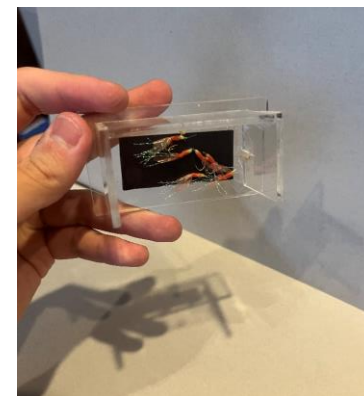
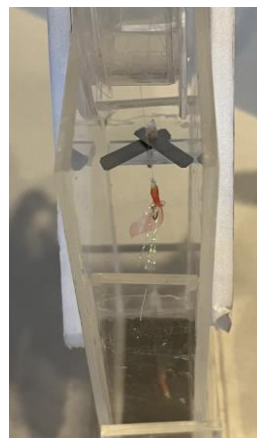
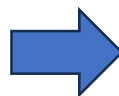
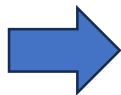
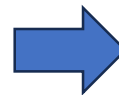
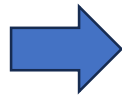
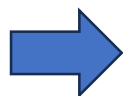


イメージ図

特徴

- ・ 本発明は、サビキ仕掛けのような針が釣り糸にいくつもついたものもハンドルを回し続けることで針を連続処理することができる。
- ・ 回収した釣り針を取り出すことができる。
- ・ 釣り針を回収すると共に、スプールに糸が巻き付くことで釣り糸も回収できる。

使用時の様子



実際に試作品を作り、釣り仕掛けを処理することができた！

作品名 釣り仕掛け処理具